取説番号 ME-234

新日軽

超高級鋳物門扉

取付取扱説明書

新日軽株式会社

■ お客様へ　取扱いの手引

■この度は、新日軽の製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。いつまでもご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますよう、お願いいたします。

○アルミニウムはサビにくい性質を持っており、その上にＪＩＳ規格を十分にクリアーした表面処理を行なっていますが、表面に汚れが付着したまま放置しておきますと、化学的、電気化学反応等で表面を侵し、点蝕等の腐食を発生させる原因となります。
いつまでも美しくお使い頂くために定期的なお手入れをお願いいたします。

汚れの程度と清掃方法

汚れの程度	用具及び洗剤	清掃方法	備考
軽い場合		水をつけた布などで表面の汚れを除去する	溶剤型洗剤及びクリーナーは塗膜を溶かすので使用できない
	中性洗剤（注１）	洗剤をつけた布などで表面の汚れを除去し、水洗後乾拭きする	
ひどい場合	塗装用洗剤（注２）	塗装用洗剤で表面の汚れを除去する	溶剤型洗剤は塗膜を溶かすので使用できない
汚れが著しく腐蝕（点蝕）を含む場合	スコッチブライト（注３） サンドペーパー＃600 中性洗剤（注１）	洗剤をつけたスコッチブライト又はサンドペーパーで表面を軽くこすり、汚れや腐蝕の生成物を除去し、水洗後その表面に適した塗料で補習する	

（注１）　例えばママレモン（ライオン油脂）、ファミリー、チェリーナ（花王石鹸）の１～２％水溶液
（注２）　塗装用洗剤は塗料の種類によりそれに適したものを使用してください。
（注３）　スコッチブライト（住友スリーエム）の粒度はウルトラファイン

○清掃にはやわらかい布を用い、ワイヤブラシ、スチールウール、金べら等は使用しないでください。また清掃時、小石、砂、金属片が用具に付着してもアルミニウム建材をきずつける事があります。

○水溶性洗剤の使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。

○清掃のひん度は汚れの程度及び立地条件により下表を参考にしてください。
清掃の時期は、暖房シーズンの終る初夏及び、台風シーズンの終る秋頃が清掃の効果及び作業環境から適当と考えられます。

建物の立地条件と清掃のひん度

立地条件	清掃回数
臨海工業地帯	1～2回／年
海岸・工業地帯	1回／年
市街地	0.5～1回／年
田園地帯	0.5回／年

■ 注意事項

●新日軽のアルミ製品はＪＩＳの表面処理規定を十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

①モルタル用に**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから、腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。

②モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。

③モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用があるので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

④施工時にアルミ製品の表面に**付着**したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと、腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

⑤アルミ製品と**銅板やラス等**の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか、塗料等で絶縁処理をしてください。

⑥腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

⑦**輸入木材**には、塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には**木材**に塗装するようにしてください。

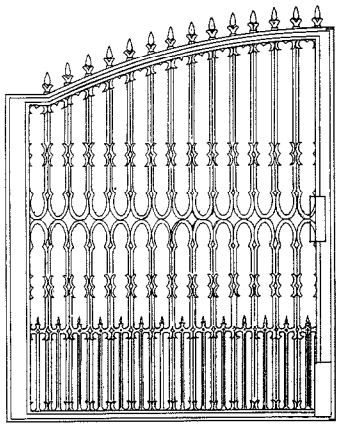
⑧門柱の内部に**モルタルやコンクリートが入らない様**、施工時に注意してください。

●門扉及び門柱は重量がありますので、施工時にユニック車又はクレーン等を使用する場合、製品にキズが入らない様十分注意してください。

●ワイヤーロープ等を製品に直接かけることは、キズをつける恐れがありますのでパワースリリング等を使用して、キズ防止をお願い致します。

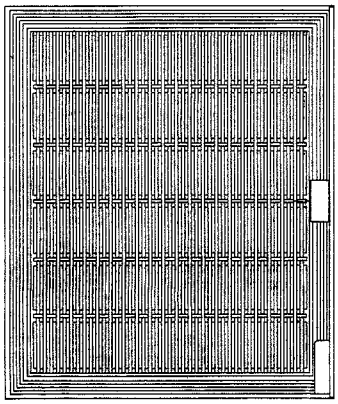
● 門扉重量

オルヴィエート
〔MLA1518R/L〕



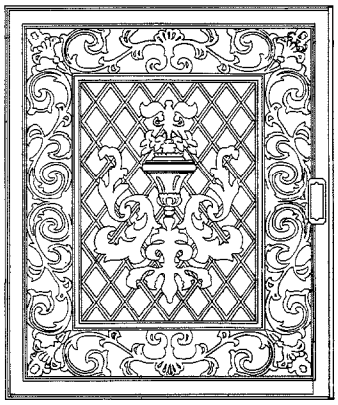
51 kg

蒼　冥
〔MLB1518R/L〕



82 kg

ユーフォリア
〔MLC1518R/L〕



65 kg

● 門柱重量

〔PLW15R/L〕

kg

〔PLW18R/L〕

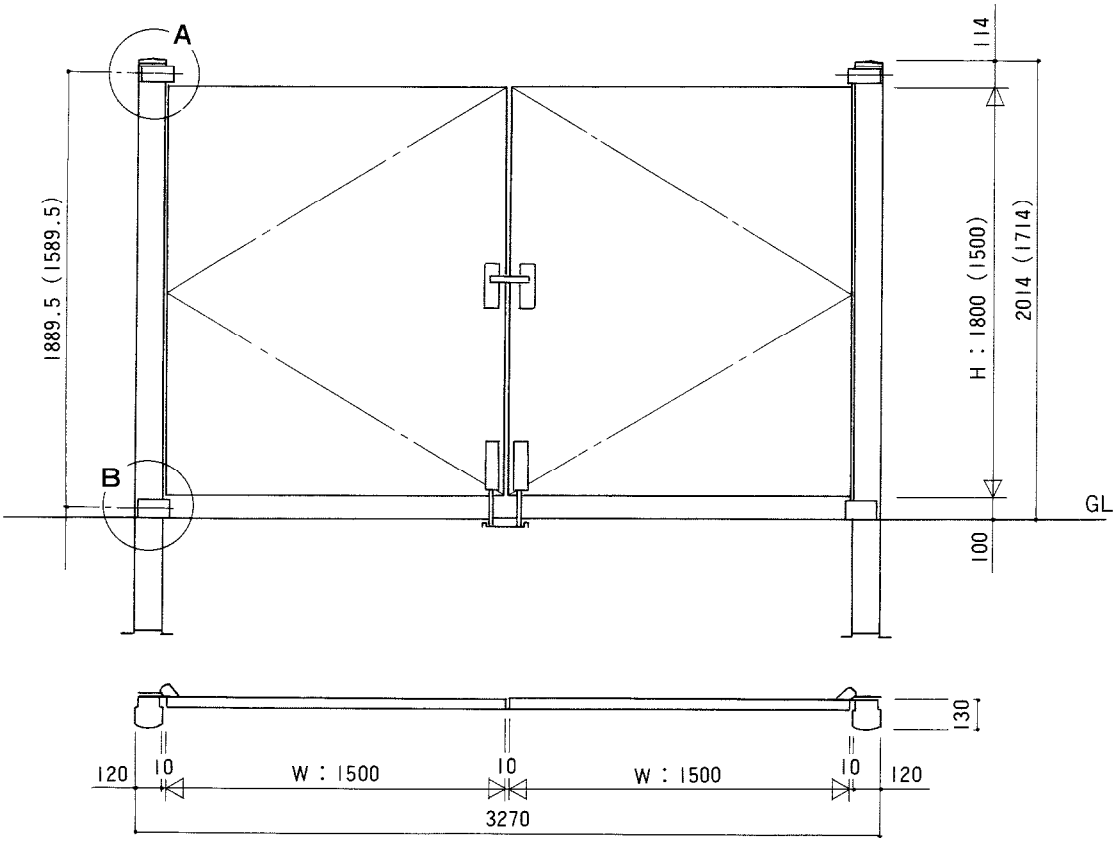
kg

■ 梱包内容明細

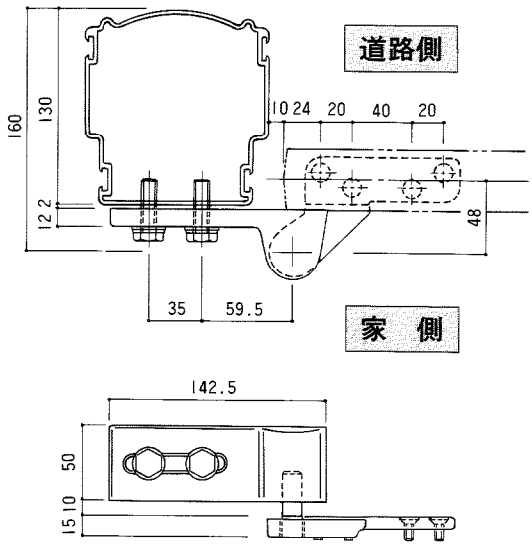
名　　称	梱　包　内　容
標　準　扉（R、L有）	門扉本体　1枚　　召合せ戸当り　1本 落し錠セット　1セット　　取付ビス
門柱セット（R、L有）	門柱　1本　　持ち送りカバー材　1本 上用ヒンジ(R又はL)　1組 下用ヒンジ(R又はL)　1組 門柱キャップ　1ヶ　　アンカーセット　1セット 取付説明書
落　し　受　け　セ　ッ　ト	受け皿(大)　1ヶ　　受け皿(小)　2ヶ
U　B　型　錠	アーム側　1セット　　受側　1セット 取付説明書

■ 納まり図

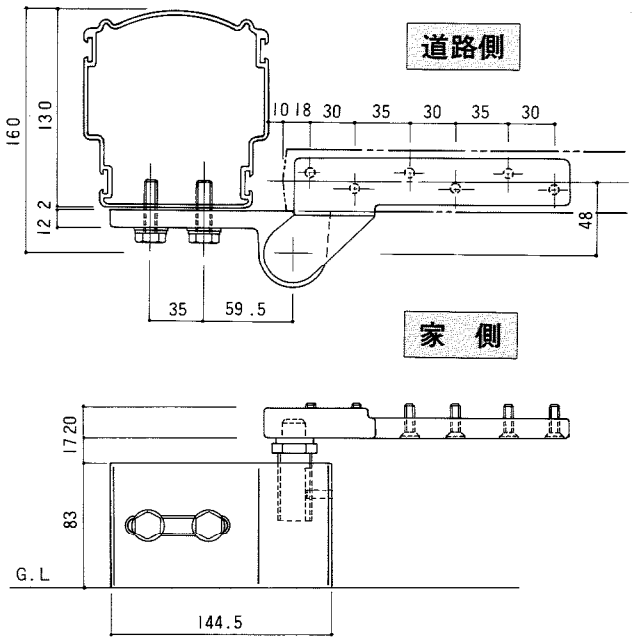
● 門扉式基本納まり （ ）内寸法はオルヴェート（MLA1518 R/L）の場合を示す。



● ヒンジ納まり（図はRを示す）



●上部納まり（A部）



●下部納まり（B部）

1 門柱の取付方法

1．門柱の埋込

○納まり図に従い門柱を埋め込みます。

○基礎工事の注意点

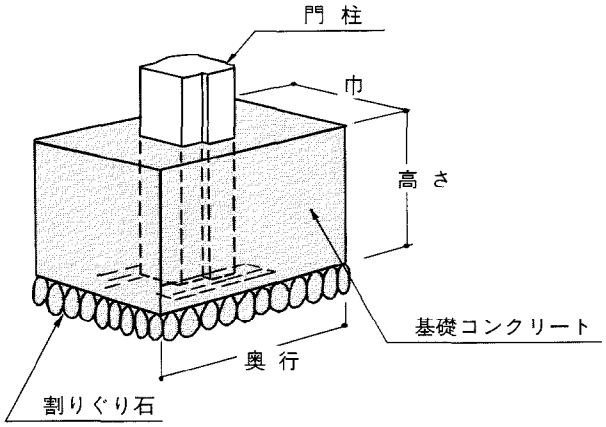
①地盤が軟弱な場合は基礎の深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

②柱基礎には必ず割りぐり石を敷き十分つきかためてください。

③地下埋設物に注意してください。

④寒冷地に御使用の場合は、その地域にあった凍結保土を行なってください。

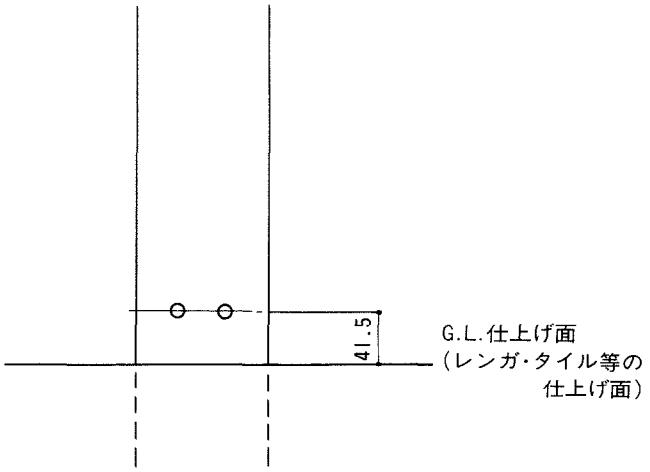
⑤コンクリート調合比は、セメント：砂：砂利＝1：3：6で行なってください。



基礎寸法 (単位：mm)

巾	750
奥　行	1,200
高　さ	500

※門柱埋め込み深さに注意してください。

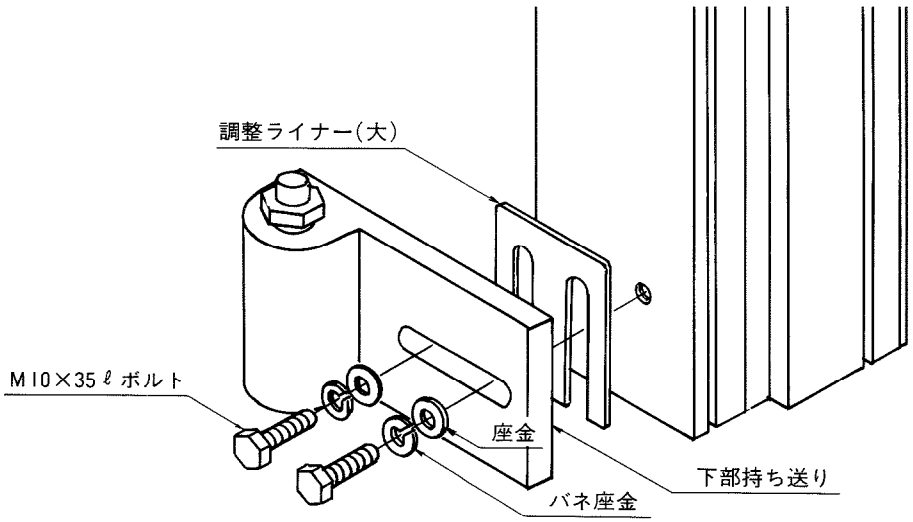


※持ち送りを取り付けた際、持ち送りの下面がG.L.と密着する様に左図の寸法を正確に出してください。

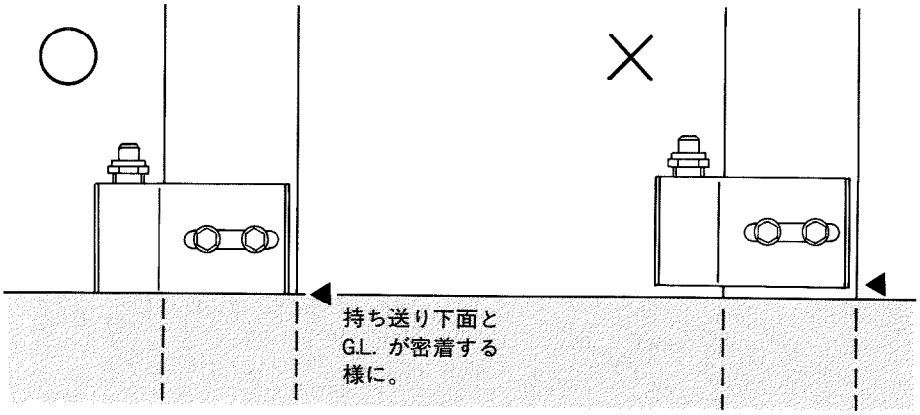
[持ち送り下面がG.L.と密着することにより、鉛直荷重をG.L.で支える機構となっています。]

2．下部持ち送り取付

○下図に従い、下部持ち送りを取り付けてください。



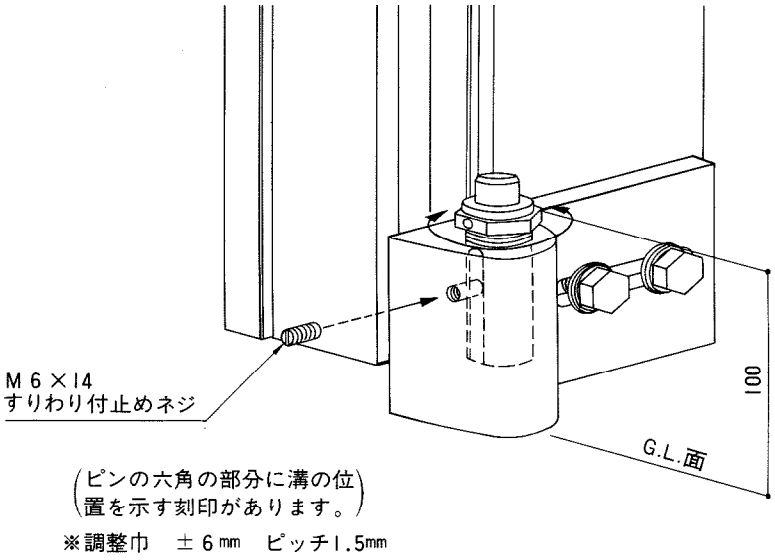
●下部持ち送り取付状態



持ち送りがG.L.面より浮いている（門柱埋め込みが浅い・G.L.仕上げ面低い）と、門扉の荷重により持ち送りが傾き、スムーズな扉の回転が得られなくなってしまうことがあります。

3．高さ調整

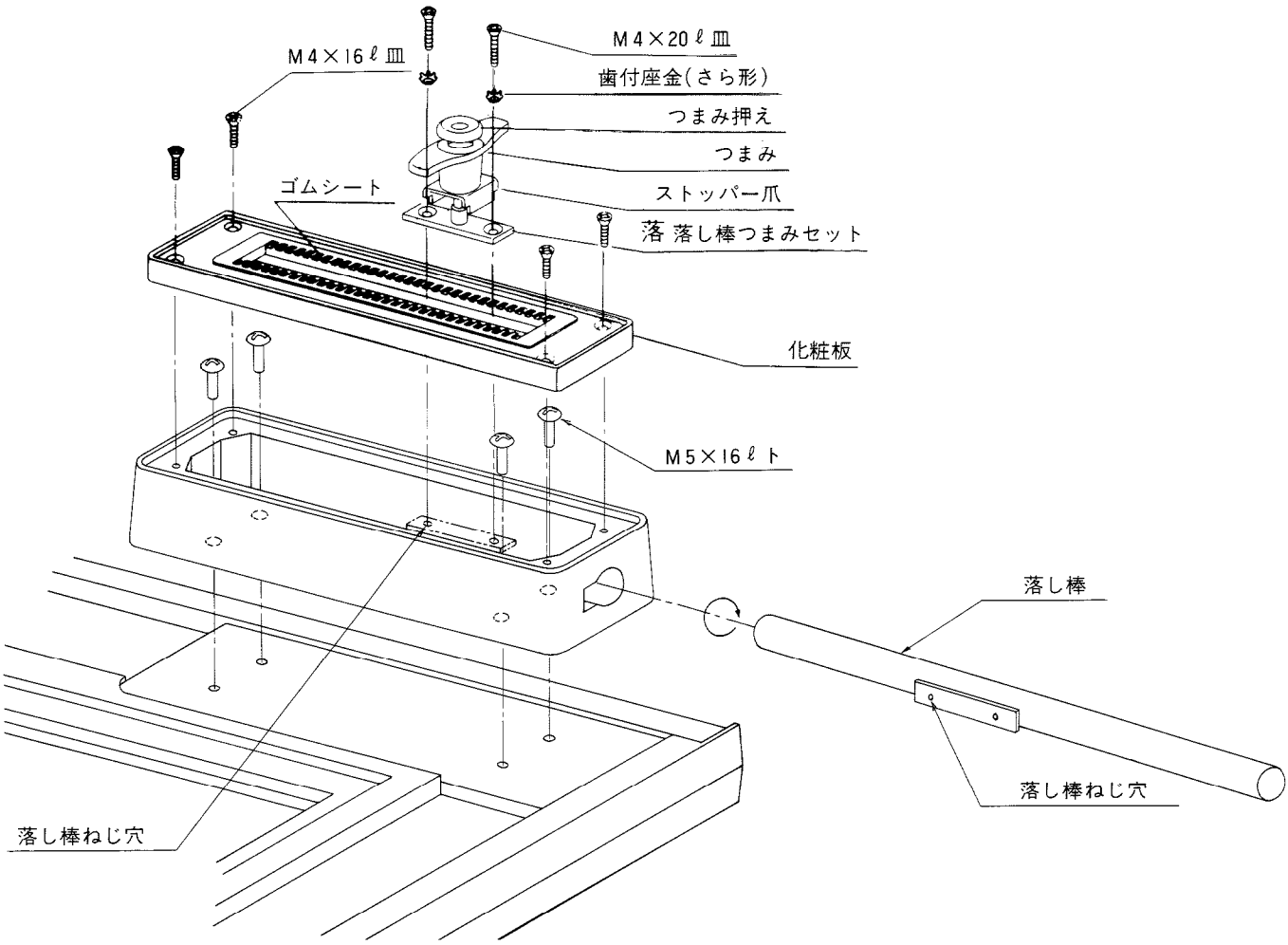
○下部持ち送りのピンの高さ（下図に寸法が示してある部分）を確認し、調整してください。



1．持ち送り側面の止めネジをはずします。
2．ピンの六角の部分をスパナ等で回し、高さをあわせます。図示の寸法が基準寸法です。
3．高さをあわせたら、再び止めネジでピンが動かない様固定してください。
このときピンのネジ部の溝に止めネジがきちんと入る様、ピンの向きをあわせてください。

2 門扉部品取付

1．落し錠取付

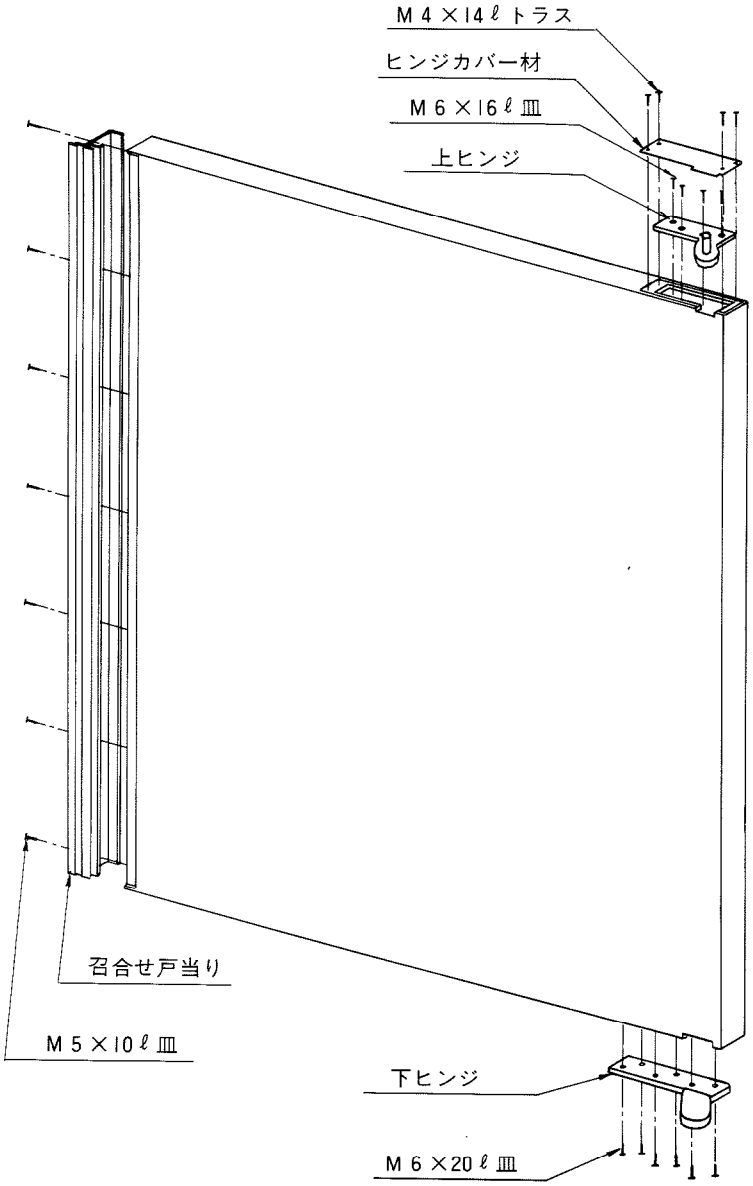


○落し棒ケースを、ビス（M５×16ℓト）で門扉本体に取り付けます。
○落し棒を落し棒ケース孔に差し込み、落し棒のねじ孔を正面に向けます。
○化粧板を、落し棒ケースにビス（M４×16ℓ皿）で取り付けてください。
○落し棒つまみセットを、ビス（M４×20ℓ皿）歯付座金（さら形）で、化粧板のゴムシートを通り越し、落し棒ねじ穴に取り付けてください。

■落し棒の作動方法

○つまみセットのつまみを指で手前に引き寄せることにより、ストッパー爪を化粧板の溝からはずし、落し棒を上下させてください。
つまみから手を離すと、ストッパー爪が化粧板の溝とかみ合い固定されます。

2．召し合わせ戸当り、ヒンジ取付



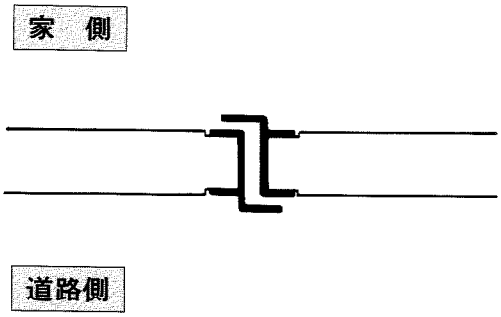
○召し合わせ戸当りをビス（M5×10ℓ皿）で門扉本体に取り付けてください。
この時、開き勝手による召し合わせ戸当りの向きに注意してください。（下図参照）

○ヒンジを門扉本体にビス（上部M6×16ℓ皿、下部M6×20ℓ皿）で取り付けてください。
※ヒンジは小さい方が上用、大きい方が下用です。

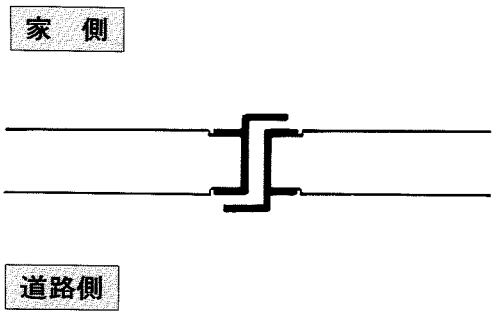
○上部ヒンジ部に、ヒンジカバー材ビス（M4×10ℓト）で取り付けてください。

■戸当り納まり

●右勝手内開き又は左勝手外開き

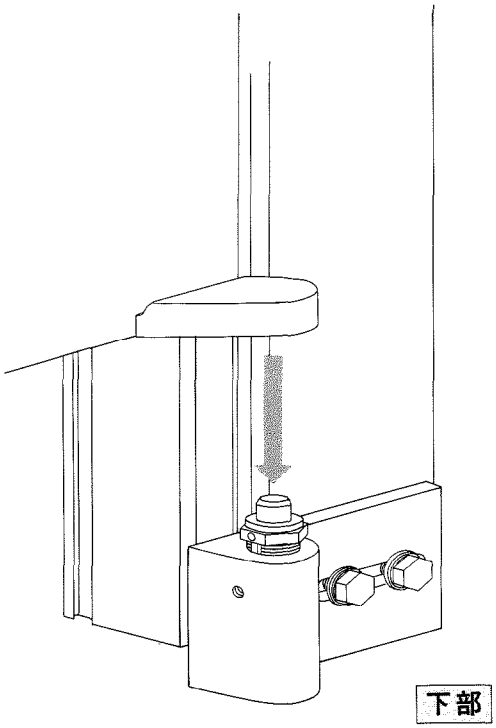


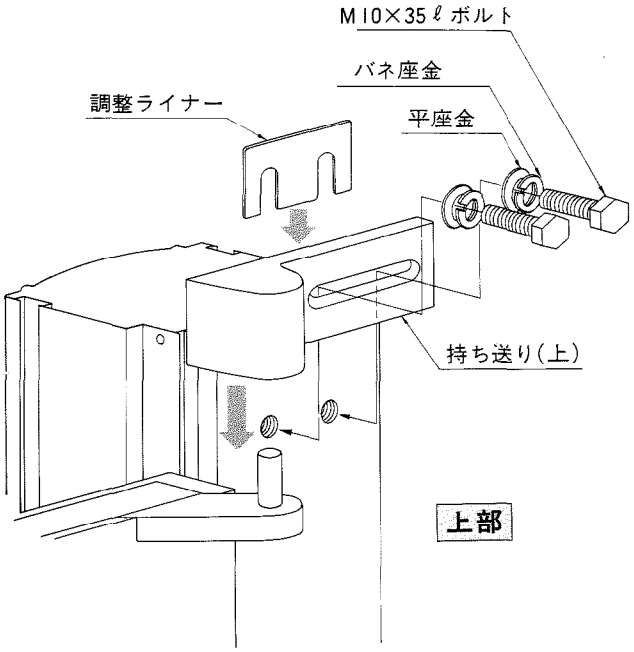
●右勝手外開き又は左勝手内開き



3 門扉の吊込

1．扉側下ヒンジの穴を下部持ち送りのピンにはめてください。（下図）

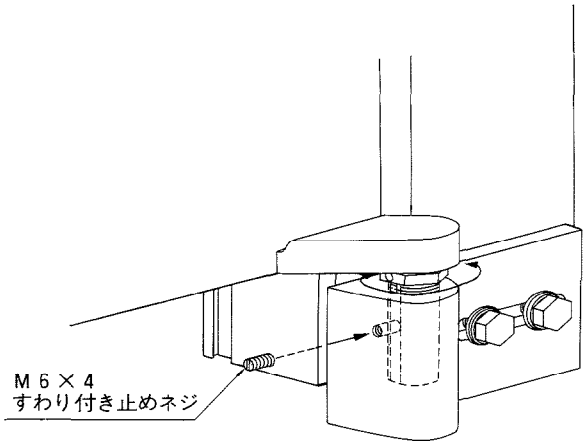




2．上部持ち送りのヒンジ穴に扉側上ヒンジのヒンジピンを差し込み、持ち送りを門柱にボルト（M10×35ℓ）で取り付けてください。　（上図）

調整方法

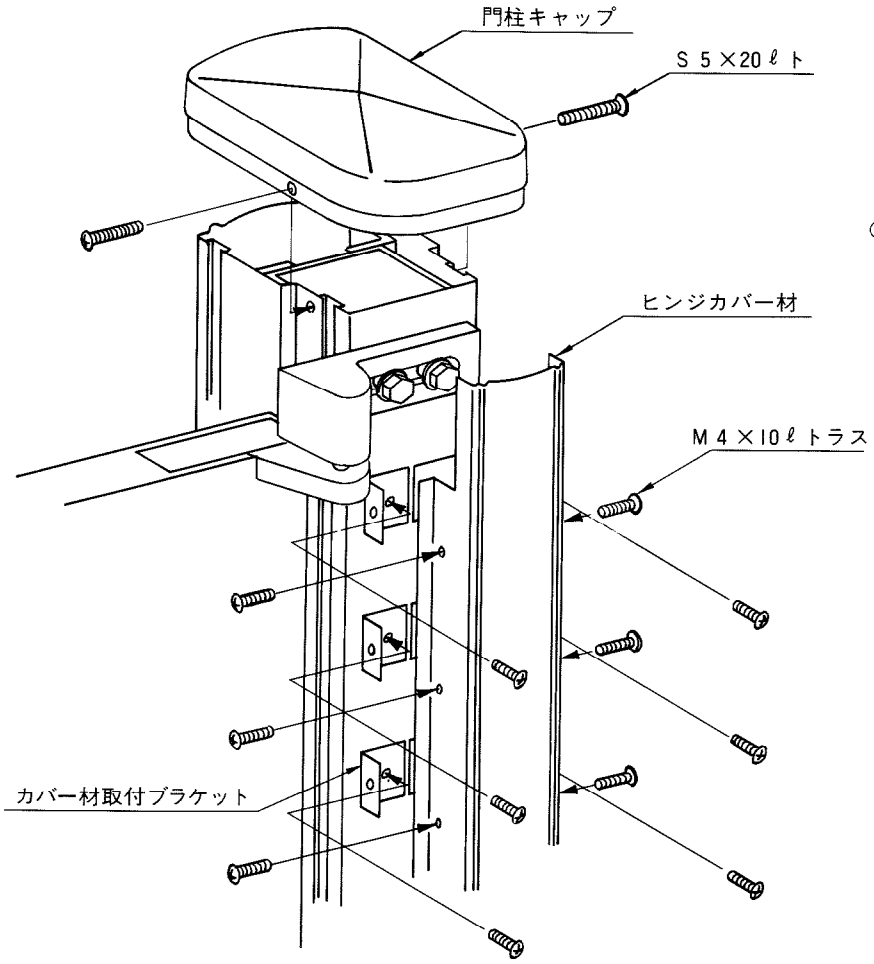
- 左右調整巾20㎜（±10㎜）持ち送りの長孔で行なってください。
- 前後調整巾2～4㎜調整ライナーを抜き差しして行なってください。
- 高さ調整12㎜（±6㎜）



調整方法〈左図〉

①止めねじをはずす。
②スパナ等で六角部分を回し高さを調整する。
　1.5㎜／1回転
③止めねじを止める。

3．門柱に持ち送りカバー材を取り付けます。



○カバー材取付ブラケットを、ビス（M 4×10ℓト）で門柱に取り付けた後、ヒンジカバー材をかぶせ、カバー材取付ブラケットにビス（M 4×10ℓト）で取り付けます。

○門柱キャップをかぶせ、ビス（M 5×20ℓト）で止めます。

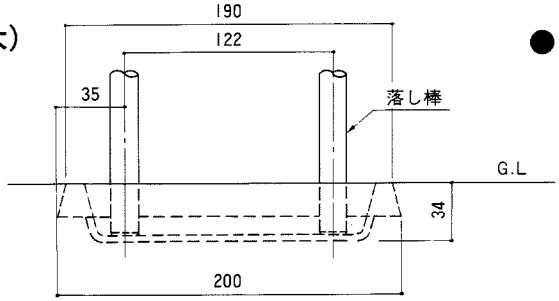
4 錠の取付

錠セット内の取付説明書に従い、錠を取り付けます。

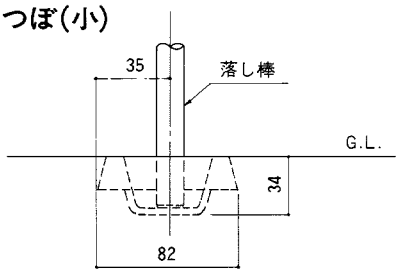
5 落し錠受け

○受けつぼは、落し棒の位置に合わせて埋め込んでください。
○門扉開き時固定用として使用する場合は、使用状況を考慮して適切な場所へ埋め込んでください。

●受けつぼ(大)

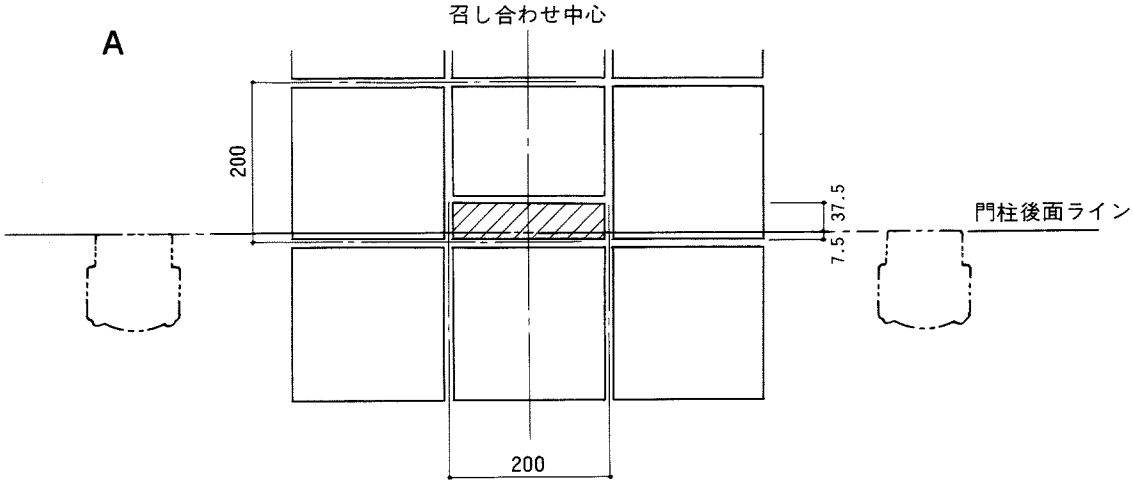


●受けつぼ(小)

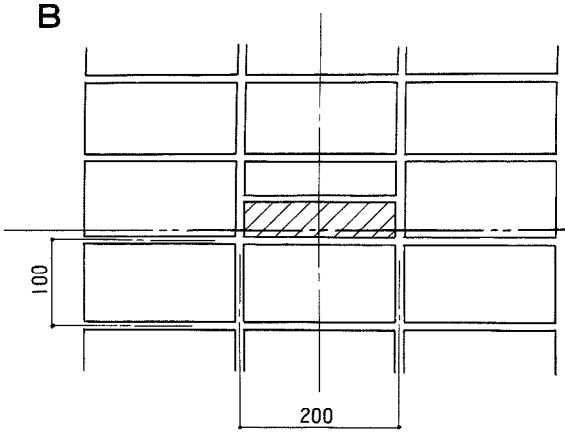


※受けつぼ上面の大きさは、45×190となっていますので、□192前後、192×92前後の標準的な大きさのタイル貼りの場合、下図A、B、Cの様にタイルを貼って頂けば、受けつぼ用の切り欠きが比較的楽になります。

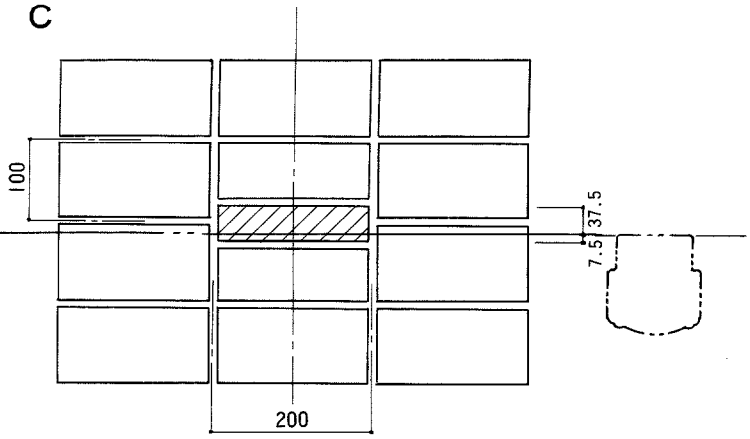
A



B



C



■ おわりに

■以上で取付は完了ですが、お客様に正しく取扱っていただくために取付取扱説明書をお渡しいただき、使用方法、メンテナンス等の説明をしてください。

㈱新日軽